

令和7年度 第4回 政策決定会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和7年12月1日（月） 11：00～11：20
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：佐野市長、藤浪副市長、岸副市長、大下教育長、西川総合政策部長
 - ◆説明者：池内生涯学習部長、仲村スポーツ振興課長、中島スポーツ推進担当長、宮田担当員、河畑建設部長、黒見公園緑地課長、的場整備担当主幹、奥担当員
-

◆審議事項

岸和田市屋内プール整備運営基本計画（案）及び

岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画（市民プール編）（案）について

・・・スポーツ振興課、公園緑地課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈藤浪副市長〉新しい施設の供用開始までは3年余りしかないので、廃止したプールの跡地利活用については早めに検討してもらいたい。

〈岸副市長〉施設を造った後、どのようにして市全体の健康施策につなげていくのかということも考慮して、進めてほしいと思う。

〈教育長〉第2期実施計画（市民プール編）概要版の右下、事業費比較のところで、屋内プールの工事費が32億円余りとあるが、全て市の負担ということではなく、2分の1は補助金があり、残りの起債部分についても交付税措置がある。実際の市の負担は少ないということもきちんと説明するようお願いしたい。

売店等は施設に含まれていたりするのか。

〈スポーツ推進担当長〉事業者から提案を求め、決定することとなる。

〈教育長〉こどもの楽しみにはそういうところにもあるので、施設に含めるのが無理であれば、隣接する施設での提案を受けることも含め検討してはどうかと思う。

〈市長〉廃止する施設に関する市民の方への説明はどうなっているか。

〈スポーツ推進担当長〉この計画の前段階として、社会体育施設全体の再編方針を定めており、そこでパブリックコメントを実施している。その中で、プールに関するご意見もいただいている。障害者の利用であったり、子供たちの移動手段の確保であったり、そういったパブリックコメント等の意見も踏まえて、今回の計画を策定している。課題については引き続き対応していくよう、検討を進める。

〈市長〉廃止施設に関してもパブリックコメントで一定理解を得ているというのは理解しているが、個別に地域への説明が必要ではないか。

〈生涯学習部長〉運営していたプールについてはこれまでも、施設に不具合が生じた場合などは逐一、

地域の校区長に連絡したり、広報やホームページで発信したりしてきた。休止になったプールについても、地域の方にも状況を理解していただいているものと考えている。実際に計画を策定し、発信していくことによって、さらに市民の方への周知も深めていけたらと思う。

〈市長〉 藤浪副市長からもあったように、跡地の利活用をある程度イメージしておいてもらいたいと思う。跡地がどうなるのか、市民の方に見えるような状態にしてほしいと思う。

〈総合政策部長〉 本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認する。

令和 7 年 11 月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 生涯学習部長、建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市屋内プール整備運営基本計画(案)及び岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)(案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和6年2月に策定した「屋内プール整備方針」及び令和6年8月に策定した「岸和田市屋内プール整備基本構想」等を踏まえ、屋内プールの施設整備や運営に関する基本計画等を定めた「岸和田市屋内プール整備運営基本計画(案)」及び市民プール等の再編の対象施設等を定めた「岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)(案)」について付議するものです。
説明者 (部長は説明者に含まない。)	仲村スポーツ振興課長
	中島スポーツ推進担当長
	黒見公園緑地課長
	的場整備担当主幹
付議事項の概要	別紙のとおり

付議会議	令和7年度 第4回会議
付議事項	岸和田市屋内プール整備運営基本計画(案)及び岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)(案)について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	天候に左右されず、年間をととして誰もが安全・安心に利用できる屋内プールを整備することにより、市民の心身の向上や健康増進、遊戯・レクリエーションの場の提供、学校水泳授業の安定的な実施等に寄与できる。

★総合計画上の位置付け

1050202	基本目標	岸和田の次世代を育むまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている
	個別目標の方向性	② スポーツへの親しみ向上や参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める
	行政の役割	安全にスポーツができる環境(場)を整える

★現状と課題

【現状】
・市民プール(9施設)、学校プール(3施設)及び中央公園プールは老朽化が著しく、改修が困難なプールは安全確保の観点から休止せざるを得ない状況である。
・市民の一般利用や団体利用は、酷暑の影響等により利用者数が下降の一途である。
・市民プールにおける学校水泳授業は天候に左右されやすく、安定した実施が困難な状況。また、受入キャパシティー等の理由で全ての水泳授業の民間委託は困難。
【課題】
・市民が安心・安全に水に親しむ機会の確保による、市民の健康増進やレクリエーションの機会の提供
・天候に左右されない安定的な授業の実施 学校水泳授業における市民プール利用校と民間委託校の格差是正 みんな泳げるプロジェクトの推進

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
岸和田市屋内プール整備運営基本計画及び岸和田市立社会体育施設再編第2期実施計画(市民プール編)の策定					30,000 ※事業者公募含む			
測量、文化財調査等				14,100	30,825			
費用便益分析					16,000			
事業者公募(DBO方式)					198	132		
基本設計・実施設計						11,000	166,125	
工事							1,315,037	1,961,556
開設準備								
供用								25,000
財源内訳	国費						660,527	927,868
	府費							
	起債						595,000	836,000
	一般財源				77,023	11,132	225,635	222,688
	その他							181,600
事業費		計		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
		3,737,473		77,023	11,132	1,481,162	1,986,556	181,600

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
有	無	1	1	1	1	0

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度	目標値				
						R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
①	みんなでめざそう値(スポーツ・運動を定期的【週1回以上】にしている市民の割合)	%	45.2	45.4		60.9	65			
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。